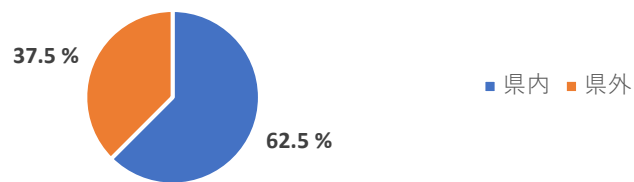


しまね短期仕事体験（2025春期） 体験報告 集計結果【参加学生】

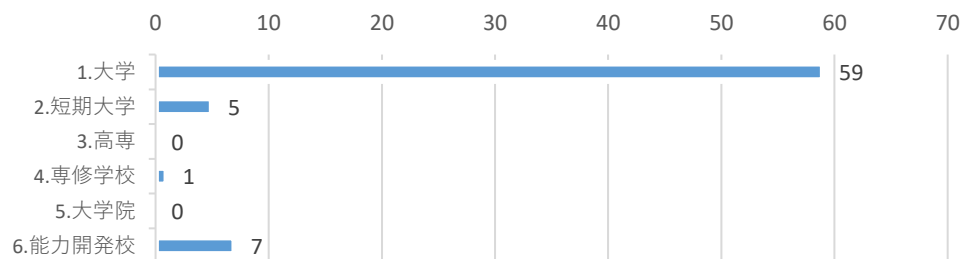
短期仕事体験参加者(実数):64名
短期仕事体験参加者(延数):76名

回答率:72 / 76名 95%
受入事業所数:41社

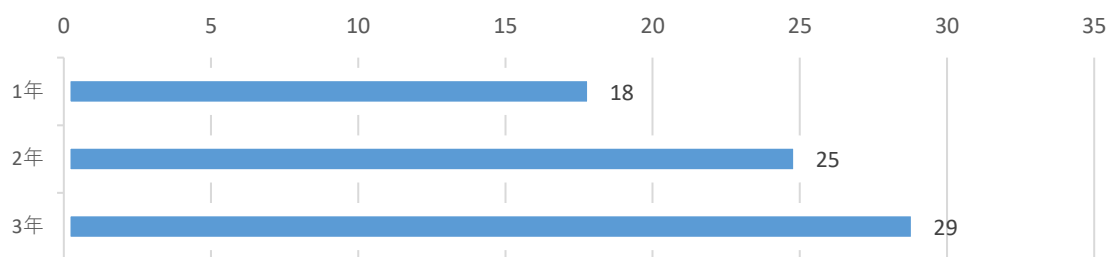
学校所在地



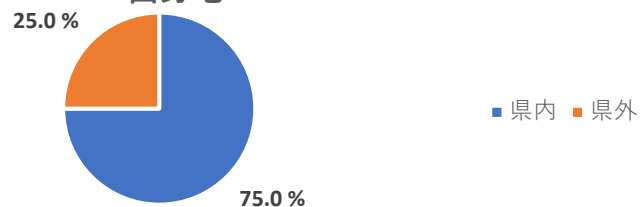
学校区分



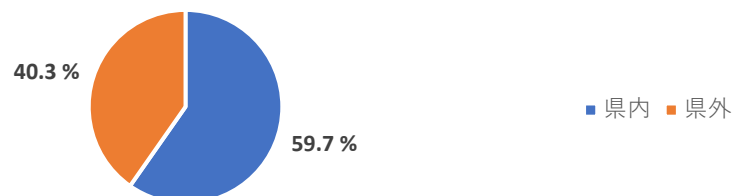
学年



出身地



現在の住まい



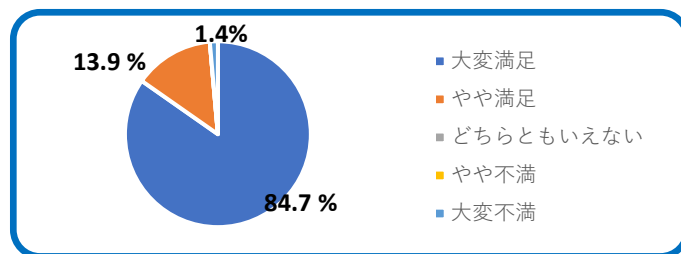
しまね短期仕事体験（2025春期） 体験報告 集計結果【参加学生】

問1 体験した実習内容(複数回答)

会社説明	68	【その他】
実務	52	・パンの制作
座談会	50	・パンの制作会社のwebページの改善点を提案
社員に向けたプレゼンテーション	29	・営業社員の方に同行
グループワーク	18	・ICT機器や設備を利用者側としての体験
その他	14	・ホテル内見学、市内の隠れた名所巡り

問2 体験プログラムの満足度について

	count	rate(%)
大変満足	61	84.7
やや満足	10	13.9
どちらともいえない	0	0.0
やや不満	0	0.0
大変不満	1	1.4
合計	72	100



問3 短期仕事体験参加の動機(最もあてはまるものを3つ選択)

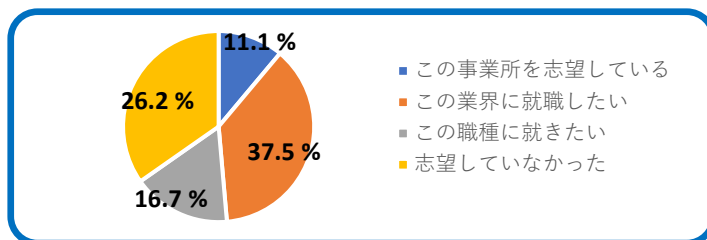
就職活動に役立てたい	59
働くことがどういうものか体験したい	55
希望する業種や企業の実務を体験したい	31
学んでいることが現場でどのように活かせるか知りたい	22
希望とは違う業種や職種を体験して視野を広げたい	20
単位取得のため	12
学校・友人・家族に勧められた	6

問4 短期仕事体験先を探す際に重視したこと(複数回答)

プログラム内容に興味があった	39
就職先として興味があった	32
実践的な仕事が体験できる	29
まだ知らない業界だった	20
プログラム内容の詳細が記載されていること	18
実習先までのアクセスを考えた	14
学業に支障が出ないこと(両立できること)	10
大学教員、先輩、友人、家族に勧められた	6

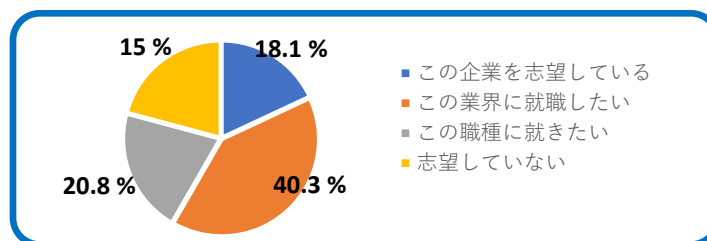
問5 短期仕事体験前の就職志望度

	count	rate(%)
この事業所を志望している	8	11.1
この業界に就職したい	27	37.5
この職種に就きたい	12	16.7
志望していなかった	25	34.7
合計	72	100



問6 短期仕事体験後の就職志望度

	count	rate(%)
この企業を志望している	13	18.1
この業界に就職したい	29	40.3
この職種に就きたい	15	20.8
志望していない	15	20.8
合計	72	100



しまね短期仕事体験（2025春期） 体験報告 集計結果【参加学生】

記述1.印象に残っているプログラムの内容(抜粋)

【実務】

- ▶ 実際に様々な業務を体験したことです。旅客サービスではお客様にあいさつをしたり、オペレーションでは数字を読んだり、グランドハンドリングでは作業を見学したり車に乗せていただいたりしたことです。
- ▶ 施行途中の現場に行ったことが印象に残っている。関係者でなければ入ることが出来ないところに行くことができた上、実際に実務体験も行い、貴重な体験であると感じたため印象に強く残っている。
- ▶ CADを用いて図面を描きそれを実際に5軸加工機を使って加工したこと。
- ▶ Webページを要件に応じて修正していくという課題。WEBページがどのように作られているのかを学びながら、要件に応えるには何が必要かを考える必要があった。
- ▶ 電子機器の組み立て(はんだ付け、抵抗、配線つけ、組立など)。
- ▶ 電気図面を見て配線する。

- ▶ 印象深い実習が多かったが最も印象に残っているのは番茶を煎る素早さが必要でありつつ、商品として提供するためにごみやつるを取り除かなくてはならないことが難しかったです。生産現場では簡単に生産されることはないということがよくわかりました。

【同行、現場の見学】

- ▶ 空山の畑見学。私たちが普段暮らしている地上より2℃も低いことや、湧水があることなど、作物にとって良い条件があり、自然の緑や宍道湖、中海を見渡しながら仕事ができる労働者にとっても良い条件が揃っていて、働くことを楽しむことが出来そうだと感じました。
- ▶ 実際にリフォームやリノベーションを手掛けている家で快適に暮らすための改善点や必要なものを考えた後に、実際にはどのようなリフォーム、リノベーションが施されているかを見学することが建設業者の方ならではの視点で見ることが出来て興味深かったです。
- ▶ 融資をしている企業を訪問し、その企業についてプレゼンを行う。
- ▶ 道の駅のオープン記念式典の帯同。
- ▶ 魚市場や野菜市場へ行き、競りを見た。
- ▶ 取材同行。実際にインタビューしたりカメラを持ったりした。

【コンテンツ開発、システム改修】

- ▶ uipathを用いたシステム開発。
- ▶ ノーコードのプログラミング言語を用いたアプリ開発する。
- ▶ グループでアプリ開発を行ったことです。グループで開発する時の雰囲気などを知ることができました。

【利用者とのふれあい】

- ▶ 体を動かす目的でいらっしゃっているご高齢の方とコミュニケーションをとることが印象的でした。ただ運動するだけでなく、お客さんと会話しながら、改善点を見つけ出していくことが重要なのだと感じました。
- ▶ 雲城まちづくりセンターにて、雲城まちづくり委員会が主催するくもぎカレーの日に参加し地域の人と交流したこと。

しまね短期仕事体験（2025春期） 体験報告 集計結果【参加学生】

【企画・体験】

- ▶ 観光ツアー案プレゼンテーションです。自分の「好き」と大学で学んできたことを詰め込んだ『色で楽しむ！初めての松江旅』の発表に対して「このままパッケージにして商品化できそう」、「目のつけどころがとても面白い」などといったポジティブなフィードバックをたくさんいただけたことで、社会に出てもこれまでの学びは活きるのだということを実感しました。また、怖がらずに自分らしさを押し出しても良いのだと気がつくことができ、自分により一層自信が持てるようになりました。

- ▶ 架空の料亭の困難な経営に対して、自分の意見を発表して仮説と改善策を立て、社員の方にプレゼンをしたこと。

- ▶ 実際に今後企業が行おうと思っている、謎解きと松江市合併20周年をかけた企画について、参加した3人の学生で土台から骨格までを行った。具体的には、ルート設定やどのようなストーリーにするかなど、普段企業の方が行われていることを短期の中ではあったが、実際に行った。

- ▶ 家の外構デザインの課題制作とPOP作り。

- ▶ 演奏会の企画を考え、フィードバックをいただいたこと。

- ▶ 初心者でも使えるツールでプログラミング体験をしたこと。

【振り返り】

- ▶ 1日1度の振り返りの時間。質問したり、職員の方の意見を聞いたりできた。

【その他】

- ▶ 最も印象に残っているのは業務体験で就業相談を体験したことです。私も大学で学生にボランティアの紹介を行っており、業務内容自体にはシンパシーを感じておりました。しかし、心がけるポイントで共通点はあるものの、ボランティア紹介以上に法制度などの知識が必要であることや事業所の方にも条件面についての調整の連絡をされるなど、その人らしい生き方ができるように最大限の努力をされていることが印象的でした。

記述2.体験プログラムに対する満足度の理由(抜粋)

- ▶ 農業で生産だけでなく加工にも力を入れているということ、加工を初めて行ってとても良い経験になったため。

- ▶ 社員の方の手厚い指導のおかげで電子機器の作成や組み立てる作業がスムーズにできたから。また細かい作業に楽しさを感じるということに改めて気づくことができたから。

- ▶ 悪天候によりもともと予定していた調査用ドローンの体験は叶わなかったが、代わりに沢山の現場を見学することが出来たから。普段立ち入ることのできない場所で工事の様子を間近に見ることが出来た。

- ▶ 充実した体験プログラム内容を通じて、旅館の雰囲気や業務、お客様に対して行っておられるおもてなしについて知ることができたから。また、各体験プログラムの中で、社員の方々と多く交流することができたから。

- ▶ すべての部署の方のお話をじっくり聞く機会があったため、部署の違いやイメージしにくかった業務についてよくわかりました。また、法人見学ではすべての部署に行かせていただけたことで、職場の雰囲気や働かれている方の年齢層について知ることができたためプログラム内容にはとても満足しております。

- ▶ 実際のシステム開発の一端について、技術的な部分を学べたこと、それに加えて、システムを作る時に気を付けるべき点(他者との協力に必要なマナーみたいなものなど)も学べたため。

- ▶ 自分の好きなことや得意なことが活かせるような体験内容だったから。また改めて自分は物作りに楽しさを感じるということを知る機会になったから。地元ということで知ってくださっている方から声を掛けていただきあまり緊張することなく体験をすることができたから。

- ▶ プログラミング技術があまりなくても実際の業務を経験して学ぶことができたから。

- ▶ 様々な人の話が聞けたことで自分の価値観が広がるだけでなく農業の考え方、企業としてのあるべき姿、人間関係など実際に動かないとわからないことがありました。また実習内容としても段取りがすごくよくわかりやすかったからです。

- ▶ 取材同行が主で業務内容を詳しく知ることができて良かったが、振り返りの時間がなかったので考えをまとめることができなかった。

しまね短期仕事体験（2025春期） 体験報告 集計結果【参加学生】

記述3.体験先の担当者・社員との接点の満足度の理由（抜粋）

【ポジティブな理由】

- ▶ 林業や造園のコースにも行かせていただき、知識がない状態でも優しく分かりやすく説明いただいたため。また、質問にも丁寧に答えていただいたため。
- ▶ 挨拶をした時に全ての職員の方が笑顔で対応してくださった。どんな時でもフォローしてもらえたので楽しく過ごすことができた。
- ▶ 若手社員の方から支店長の方まで、また様々な部署の方と交流できたからです。
- ▶ ランチミーティングと題してお昼ご飯を職員の方と食べる機会があり、職員の方が働かれている最中には聞きづらいことも聞くことができる時間をとっていただけたから。
- ▶ 毎日、振り返りのときに質問や聞きたいことをこちらから聞くことができ、職員の方がどのような思いで仕事をされているのか知れた。最終日にはおいしいパンとお菓子をいただき、とても嬉しかった。
- ▶ 普段の学生生活では関わらない人たちばかりでとても新鮮だった。社会人としての将来像だけでなく、人として大事なことや考え方を教えてもらった。常に私たちが気にかけてくれて感謝しかない。

【ネガティブな理由】

- ▶ 接点のある社員さんが2人しかいなかったため、複数の社員さんに質問できなかったから。
- ▶ 業務内容上仕方のないことだと理解はしているが、パーテーションで区切られた状態で5日間過ごしたため、ほとんど関わることなく終了してしまったから。

記述4.体験事業所への要望

【プログラム内容や実習中について】

- ▶ 実際の業務も体験してみたかった。
- ▶ 実残的な仕事をもっと多くできたら嬉しいです。
- ▶ 当初の予定表からの変更点があり、体験できなかったプログラムがあったことが少し残念でした。

【コミュニケーション取りたい】

- ▶ 社員との座談会の時間をもう少しとってほしかった。
- ▶ 参加する人数にもよりますが、グループワークで他の学生と何か話し合う時間が欲しかったなと感じます。
- ▶ 個人へのフィードバックをもう少し詳しくお聞きしたかった。

【その他】

- ▶ 服装に関してもう少し具体的に記載があるとわかりやすいと思った。